



うたいぼん

# 謡本を読んでみよう

講師 能楽大倉流小鼓

ひさだ やすこ  
久田 陽春子

謡 観世流シテ方

てら さわ こう すけ  
寺澤 幸祐

能鑑賞がはじめての方向けの入門講座です。

能の台本を「謡本(うたいぼん)」といいます。

令和6年1月20日(土)13時から行われる第30回「若手能」大阪公演の演目を題材に、実際の演能の流れにそった解説を聞きながら、一部をみんなで声に出して読みます。文語で書かれているために、聞き取りにくく難しいと思われがちな能を楽しく理解して、能鑑賞をより充実したものにしてみませんか。

◆日時 令和6(2024)年1月20日(土)

10:00~11:30 (開場9:30)

◆場所 大阪市立中央図書館

5F 中会議室

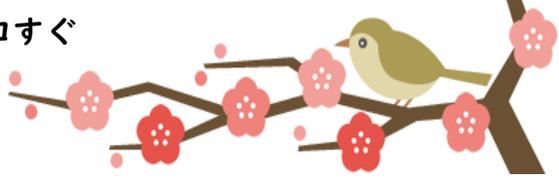
◆定員 60名(当日先着順)

◆対象 どなたでも 入場無料



大阪市立中央図書館 お問い合わせ先 TEL 06-6539-3303

OsakaMetro 千日前線・鶴見緑地線「西長堀」下車7号出口すぐ



## 講師プロフィール 久田陽春子(ひさだ やすこ)

能楽師 大倉流小鼓方(重要無形文化財総合指定保持者)

一般社団法人 日本能楽会会員、公益社団法人 能楽協会 正会員・大阪支部所属  
1973年生まれ

大倉流16世宗家 大倉源次郎師および父 大倉流小鼓方 久田舜一郎に師事。

・能「鞍馬天狗」子方、花見にて初舞台。

・1985年 大阪能楽養成会入会、卒業ののち能「乱」、「石橋」を披く。

・2005年 能「道成寺」にて大阪舞台芸術新人賞を受賞。

・2010年 自主公演「幸祐・陽春子 能の会」にて、能「安宅」を披く。

全国でも数少ない公式の舞台に出演する女性能楽師として各地で活動。

また、能楽の普及および伝統芸能である能楽を守り、後世に伝えていくための活動にも力を注いでいる。

夫 寺澤幸祐は観世流シテ方、叔父 久田勘鴎は観世流シテ方、長男(拓海)、長女(杏海)も修行のため各地の能舞台に出演。

### 令和6年若手能演目

能「忠度(ただのり)」 作者：世阿弥 季：春(三月) 所：摂津・須磨の浦

典拠：『平家物語』巻九「忠度最期」

狂言「栗焼(くりやき)」

能「葵上(あおいのうえ)」 作者：世阿弥改作 季：不定 所：京・左大臣邸

典拠：『源氏物語』葵の巻など

### 若手能とは (大阪若手能ホームページより)

大阪・兵庫の40歳以下の若手能楽師が企画・運営を担い、公演を行っています。

また、能楽体験講座やライブ等、普及活動にも力を入れて活動しています。2001年、日本の伝統芸能「能楽」はユネスコ第1回世界無形遺産に登録され世界的に能楽が認められました。能楽が世界に認められるまでには、能楽界でのさまざまな努力、試みがなされてきました。

国立能楽堂では研修生を募集し、能楽師を育ててきました。そして、彼らの出演の機会を作るため能楽協会と協力し、各地の若手能楽師との競演を実現させました。それが「若手能」です。